

K. 浴槽, シャワー	7	浴槽に移乗可能
	6	浴槽周囲の手すりと滑り止めマットを用いて自立
	5	浴槽の腰掛に自分で移乗できるが, 監視が必要
	4	浴槽へ移動できるが, 片足を入れるのに介助が必要
	3	両足の出し入れが介助
	2	立ち上がる際や腰を下ろす際に介助が必要
	1	行っていない
移動		
L. 歩行, 車椅子	7	50mを安全に, 妥当な時間内で歩行する. 転倒の危険ない
	6	装具, 杖, 歩行器など使用して 50m歩行可能. 車椅子は方向転換が可能
	5	50mの移動に監視や促しが必要. 15mであれば移動可能
	4	介助によって 50m移動可能. 車椅子でも介助が必要
	3	介助者に足を運んでもらうなどの介助で 50m移動可能
	2	どんなに介助しても 15mしか歩行できない. 車椅子では曲がれない
	1	全介助. 車椅子操作ができない
M. 階段	7	通常しないが, 必要なら手すりなしでも 14 段昇降可能
	6	手すりや装具があれば昇降可能
	5	14 段の昇降は可能だが, 監視が必要. 4 段であれば可能
	4	介助があれば, 手すりのある 14 段の昇降は可能
	3	介助者が支え腰紐を持ち上げるなどがあれば 14 段可能
	2	介助があれば 4 段可能. 4 段の昇降に介助か監視が必要
	1	実生活では行わない
コミュニケーション		
N. 理解	7	友人との会話や手段会話が可能
	6	難聴があり, 片側から話すように訴えることができ, そうすれば理解も可能
	5	補聴器を使おうとしない難聴患者で, 大きな声で話さないといけない
	4	手段会話を理解できない, ごく最低限の会話は成立
	3	おなかがすいているか, のどが渴いているかを 50%で理解
	2	失語症患者でジェスチャーを見れば理解可能, 難聴患者で 25%しか理解できない
	1	難聴や失語症のために理解できない

O. 表出	7 6 5 4 3 2 1	共通の話題について友人と会話可能 多少の構音障害があるが、表出の際にストレスはない 基本的な欲求については短いフレーズで表出可能 基本的な欲求を短い句で話すが、たまに間違える のどの渇き、空腹などを表出するが、半分程度しか理解できない 一語のみの表出であるが、介助者はそれがわかる 表出がない
社会的認知		
P. 社会的交流	7 6 5 4 3 2 1	治療中に協力的。「はい、いいえ」のやりとりで礼儀正しさが確認できる 行動コントロールのため投薬を受けている 訓練に参加するが、集団で何かやるには激励が必要 交流はするが自分からははじめない。すぐ気が散る 汚い言葉を使う。交流しようとはせず、黙っている しばしば非協力的で、訓練を拒む 毎晩、同室患者が眠れなくなる
Q. 問題解決	7 6 5 4 3 2 1	自分の金銭管理を行っている 服薬管理がだいたいできる 何か問題を起したときに、助けを求めたり、解決できる 問題解決のために、しばしば助けを求めることができない ナースコールを押して基本的問題を50%以上解決できる 電話のかけ方がわからない。無理なのに介助なしで起き上がろうとする 問題解決に全面的に介助が必要
R. 記憶	7 6 5 4 3 2 1	手帳を使っているが、それを見なくても思い出せる 手帳を用いて自立 多段階の命令に従うには介助者が必要 予定表を見るのをたまに忘れて、25%の機会で見られるように言われる 担当療法士の名前は言えないが、認識はできる よく会う人を覚えているが、指示を繰り返す必要がある 記憶に全面的に介助が必要である

<健康関連QOL:Health Utilities Index(HUI)>

HUI23PCE.15Q

自己記入代理人評価方式15項目質問票“現在”の健康状態評価

記入方法

この質問票の中に出てくる“この方”とはあなたが代理で答えて下さろうとしている調査対象者のことを意味します、例えば御両親や娘さん、息子さんあるいはご主人、奥さん、お友達また患者さんであるかも知れません。この質問票は様々な方を対象とした調査に使用できるように書かれているのであなたが健康のさまざまな面に関してお尋ねする対象者、ご親戚やお友達、御両親に対して“この方”と大きな意味でまとめてお尋ねする失礼をお許してください。

この質問票はこの方（調査対象者）の健康に関する様々な側面をお尋ねする質問が含まれています。これらの質問にお答えになる際には、この方の現在の健康状態と、日常生活に基づいてこの方がものごとをこなす能力についてお考え下さい。

この質問集のうちいくつかの質問は、この方に当てはまらないと感じられるかも知れません。しかしすべての皆さんに対して同じ質問をすることが大切である点をご理解下さい。また、いくつかの質問は同じようなことをお尋ねするようで申し訳ありませんが、明らかに重複してもそれぞれについて回答して下さい。

それぞれの質問を読んで、回答を慎重に考えて下さい。各質問に対してあらかじめ設けられた答えのうち、この方の現在の生活上、できる事やできない事を一番よく言い表していると思われるものをひとつ選択して下さい。選択した答えの先頭の英文字（a, b, c, d, e, f）を別紙の評価用紙に転記して下さい。

あなたに御協力いただいたすべての情報は秘密扱いとさせていただきます。回答には正しい答えとか、間違った答えというものはありません。私共の調査で知りたいのは、日常生活能力や感じ方に関するこの方ご自身のご意見なのです。

1. 現在、この方が新聞の文字を判別する能力は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？
ひとつ選んで下さい。

- a. 眼鏡やコンタクトレンズなしでも充分に見える。
- b. 眼鏡やコンタクトレンズがあれば充分に見える。
- c. 眼鏡やコンタクトレンズがあっても充分に見ることができない。
- d. まったく見えない。

2. 現在、この方が、通りの反対側にいる人を見て友達を見分ける能力は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。
- a. 眼鏡やコンタクトレンズなしでも充分に見分けられる。
 - b. 眼鏡やコンタクトレンズがあれば充分に見分けられる。
 - c. 眼鏡やコンタクトレンズがあっても充分に見分けられない。
 - d. まったく見分けられない。
3. 現在、この方が、3人以上の人達との会話内容を聞きとる能力は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。
- a. 補聴器なしでも会話内容を聞きとれる。
 - b. 補聴器があれば会話内容を聞きとれる。
 - c. 補聴器があっても会話内容を聞きとることができない。
 - d. 会話内容を聞きとれない、しかし補聴器もつけていない。
 - e. まったく聞こえない。
4. 現在、この方が、静かな部屋の中で相手の話す内容を聞きとる能力は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。
- a. 補聴器なしでも会話内容を聞きとれる。
 - b. 補聴器があれば会話内容を聞きとれる。
 - c. 補聴器があっても会話内容を聞きとることができない。
 - d. 会話内容を聞きとれない、しかし補聴器もつけていない。
 - e. まったく聞こえない。
5. 現在、この方が、この方のことを知らない人と言葉を交わし、話した言葉を理解してもらう場合、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。
- a. 完全に言葉を理解してもらえる。
 - b. 部分的には言葉を理解してもらえる。
 - c. 言葉を理解してもらえない。
 - d. まったく言葉をしゃべることができない。

6. 現在、この方が、この方のことをよく知っている人と言葉を交わし、自分の話した言葉を理解してもらう場合、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。

- a. 完全に言葉を理解してもらえる。
- b. 部分的には言葉を理解してもらえる。
- c. 言葉を理解してもらえない。
- d. まったく言葉をしゃべることができない。

7. 現在のこの方の感情は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。

- a. 幸せで、生きているのが楽しい。
- b. いくらか幸せ。
- c. いくらか不幸。
- d. とても不幸。
- e. 不幸すぎて生きている意味を失っている。

8. 現在、この方の痛みや不快感の程度は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？
ひとつ選んで下さい。

- a. 痛みや不快感がまったくない。
- b. 軽度から中程度の痛みや不快感があるが、活動は妨げられない。
- c. 中程度の痛みや不快感があり、活動がわずかに妨げられる。
- d. 中程度から強度の痛みや不快感があり、活動がいくらか妨げられる。
- e. 激的な痛みや不快感があり、ほとんどの活動が妨げられる。

9. 現在のこの方の歩行能力は、以下に述べるもののうちどれが一番あてはまりますか？
ひとつ選んで下さい。

(注：歩行器具とは、添え木、杖、松葉杖、歩行器などの補助用具を指します。)

- a. 歩行器具なしに難なく近所を歩き回る事ができる。
- b. 近所を歩きまわるのは難かしいが、歩行器具や人の介助を必要とするほどではない。
- c. 歩行器具を必要とするが、他人の介助なしに近所を歩き回る事ができる。
- d. ほんの短い距離であれば歩行器具を使って歩く事ができ、かつ車椅子なら近所にでかけることができる。
- e. 歩行器具を用いても一人では歩けない。少し歩くのにもだれかの介助が必要で、近所にでかけるには車椅子が必要である。
- f. まったく歩けない。

10. 現在、この方の手や指を動かす能力は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？

ひとつ選んで下さい。

(注：特別な道具とは、手や指の不自由を補うための道具、例えば衣服のボタンを掛けやすく工夫した道具とか、特殊な形をしたスプーンやフォークなどの食器、小物をつかむ器具などを指します。)

- a. 両手と十本の指を完全に使いこなせる。
- b. 手や指の不自由はあるが、特別な道具や人の介助を必要としない。
- c. 手や指の不自由はあるが、特別な道具を使えばできる。(人の介助を要しない。)
- d. 手や指の不自由があり、(特別な道具を用いても)人の介助を必要とすることがある。
- e. 手や指の不自由があり、(特別な道具を用いても)ほとんどの場合、人の介助が必要である。
- f. 手や指が不自由で、(特別な道具を用いても)何をするにも人の介助を必要とする。

11. 現在のこの方の記憶力は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。

- a. ほとんどの事を思い出す事ができる。
- b. いくらか忘れっぽい。
- c. とても忘れっぽい。
- d. まったく何も思い出す事ができない。

12. 現在、この方が毎日の問題ごとを考えたり解決していく能力は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。

- a. 毎日の問題をはっきりと考え解決することができる。
- b. 毎日の問題を考え解決するには、わずかに困難がある。
- c. 毎日の問題を考え解決するには、多少困難がある。
- d. 毎日の問題を考え解決するには、相当困難がある。
- e. 毎日の問題を考え解決する能力がまったくない。

13. 現在、この方が身の回りのことをする能力は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。

- a. 食事、入浴、着替え、トイレのすべてが普通どおり問題なくできる。
- b. 困難はあるが食事、入浴、着替え、トイレのすべてが自分でできる。
- c. 食事、入浴、着替え、トイレのうちいずれかに補助器具を必要とするが自分でできる。
- d. 食事、入浴、着替え、トイレのいずれかに人の介助を必要とする。

14. 現在のこの方の感情は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。

- a. だいたい幸せで、取りたてて心配事がない。
- b. ときどきいらだったり、怒ったり、しゃくにさわったり、不安になったり落ち込んだりする。
- c. しばしばいらだったり、怒ったり、しゃくにさわったり、不安になったり落ち込んだりする。
- d. ほとんどいつもいらだったり、怒ったり、しゃくにさわったり、不安になったり落ち込んだりしている。
- e. 極度にいらだったり、怒ったり、しゃくにさわったり、不安になったり落ち込んだりして、カウンセリングを受けたり精神安定剤の助けが必要となるほどである。

15. 現在、この方の痛みや不快感の程度に関し、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。

- a. 痛みや不快感がまったくない。
- b. ときどき痛みがある。不快感は市販薬または自己管理によってやわらげられ、ふだんの活動のじやまにはならない。
- c. しばしば痛みがある。不快感によりふだんの活動が妨げられることもあるが、飲み薬によってやわらげられる。
- d. しばしば痛みがある。普通の活動がしばしば妨げられ、やわらげるためには麻酔薬などの処方が必要とする。
- e. ひどい痛みがある。痛みはどんな治療でもやわらげられず、常に普通の活動が妨げられる。

16. 全体的にみてこの方の現在の健康状態はどのくらいに評価できますか？

- a. 秀でている。
- b. とてもよい。
- c. よい。
- d. あまりよくない。
- e. 非常に悪い。

*この対象者に提供している作業療法プログラムについて、ご記入願います。

	OTプログラム	実施状況	(具体的な種目の例) 当てはまる種目には○をつけてください。	
心身機能	筋力強化訓練		パワーリハ, 徒手, 重垂	
	関節可動域訓練			
	見当識訓練		リアリティーオリエンテーション	
	記憶力訓練			
	計算訓練			
	言語訓練			
	嚥下訓練			
	書字訓練			
活動・参加	起居動作訓練	寝返り		
		起き上がり		
		端座位		
		立ち上がり		
		立位保持		
		移乗		
	歩行訓練			
	移動訓練		交通機関の使用, 自動車の運転, 車椅子の使用	
	階段昇降訓練			
	ADL	食事		
		排泄		排尿, 排便
		入浴		洗身, 洗髪, 浴槽への出入り
		更衣		上衣, 下衣, 履き物
		整容		口腔ケア, 洗顔, 整髪, 爪切り
	IADL		洗濯, 買い物, 調理, たたみもの, テーブルふき, 掃き掃除, 食器洗い, アイロンかけなど	
	外出		散歩, ドライブ, 公共施設(美術館, 博物館, 植物園, 動物園, 水族館, 温泉), 幼稚園・小学校等訪問など	
	レクリエーションとレジャー	遊び、スポーツ		風船パレー, ボール投げ, 輪投げ, ゲートボール, 将棋, 囲碁, マージャン, トランプ, カルタ, 百人一首, お手玉, 輪投げ, 各種ゲーム, 体操など
				読書, 映画鑑賞, 音楽鑑賞, 合唱, カラオケ, 生け花, 大正琴, 園芸, 回想法, 踊り, 習字など
芸術、文化的な活動			裁縫, 刺し子, 編み物, アンデルセン手芸, 籐細工, 革細工, 陶芸, 貼り絵, 塗り絵, 絵手紙, ビーズ手芸, マクラメ, 木工, 粘土細工, 折り紙	
手工芸			茶話会など	
社交			アニマルセラピー, メイクセラピーなど	
その他				
環境因子	移動補助具選定		杖, 歩行器, 車椅子等	
	シーティング		車椅子の調節, クッションの選定, 作製	
	自助具選定、作製			
	環境調整		家具の配置, 物品の管理	
	家屋改造		段差解消, 手すりの設置	
	福祉用具選定			
	家族指導			
	職員介助方法の指導			